

# 今回は6年生の「家庭読書の日」の感想を紹介します！

南郷小学校 令和8年3月

6年

読んだ本「たいようとなないろのはな」

悲しんだ子をなぐさめるために、みんなで花をきれいにするなど、1人のために全員で行動できるのがいいなと思いました。

読んだ本「日本の歴史 激動する世界と日本」

過去の経験を活かして、今の日本が作られているんだと思いました。

読んだ本「ノラネコぐんだん カレーライス」

がんばって作ったカレーが、全部トラに食べられてしまってかわいそうだなと思いました！

でもそのカレーは、大繁盛だったのが良かったなと思いました。私も食べてみたいです。

読んだ本「だいすきなパパへ」

パークリーは会えないパパに、木で作った船を海に流して、パパにあげていたのがやさしいなと思いました。

どんどん船の作り方が上手になっていてすごいと思いました。わたしもそんなふうになりたいです。



読んだ本「100円たんけん」

100円でいろんなものが変わると知りました。そして個数が違って、同じ100円というのがびっくりしました。

読んだ本「サッカーの神様」

ぼくもペレ選手みたいに、サッカーの神様になりたいです。

学校司書より・・・

お忙しい中、一年間家庭読書の日のご取り組みにご協力頂き、ありがとうございました。読ませて頂いていると、お子様の読書に対する成長をととても感じます。家庭読書が、ご家族の会話や何かを考えるきっかけになれば大変嬉しく思います。

来年度もどうぞよろしくお願い致します。

読んだ本「ショートショートボッコちゃん」

BARのボッコちゃんという機械で、お酒を節約していたのがびっくりしました。

ボッコちゃんが飲んだ毒が、他の客にふるまわれるのが怖いです。



読んだ本「あやちゃんのうまれた日」

親が子のことを愛していることが、めちゃくちゃ伝わりました。だからこれからは、親に感謝しながら生きていきたいです。



6年生のみなさんへ

6年間毎月、家庭読書をよくがんばりましたね。お気に入りの本はありましたか？

これからもお気に入りの本をそばに置いて過ごしてください。きっとあなたの良き友として、豊かさを運んでくれるでしょう。

中学校でも、ぜひ図書室に行ってみてください。そして、多くの本と巡り逢ってください。

南郷小学校 司書 古澤

